

2024年3月期第2四半期 決算説明資料

2023年11月20日

アイホン株式会社

本日の内容

01

2024年3月期 第2四半期

決算ハイライト

02

事業活動トピックス

03

2024年3月期

業績見通し

2024年3月期 第2四半期

01 決算ハイライト

02 事業活動トピックス

2024年3月期
03 業績見通し

部品供給

- 第1四半期を中心に想定以上に回復
- 国内外の納入残（バックオーダー）が解消

為替変動

- 修正計画（2023年8月1日発表）以降も円安基調で推移
- 海外市場の売上が大幅に増加
- 海外生産子会社における部品コストの増加により、利益が減少

その他

- 国内外リニューアルのセキュリティ、非接触・非対面ニーズは高水準を維持
- 欧州市場を中心に住宅価格の高騰、ローン金利上昇等により、住宅市場の市況が低迷
- ウクライナ等の海外情勢に起因する業績への直接的な影響は僅少

- 売上高**
- 国内市場：増収 受注内定残の納入が好調に推移、各市場ともにリニューアル需要が堅調に推移
 - 海外市場：増収 北米を中心にバックオーダーが解消、為替（円安）が大きく影響

利益 増益 為替（円安）の影響による減少はあるものの、売上高の大幅な増加が大きく影響

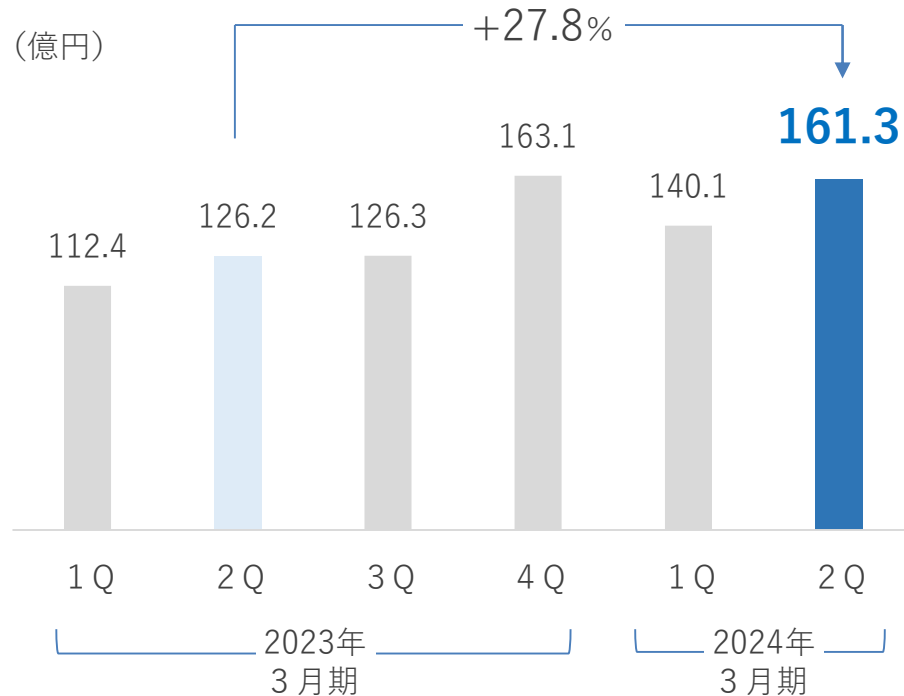
(億円)		'23/3期2Q 累計実績	'24/3期2Q 累計実績	'24/3期2Q* 累計計画	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高		238.6	過去最高 301.5	298.0	+26.3%	+1.2%
営業利益 (売上高営業利益率)		13.2 (5.5%)	30.2 (10.0%)	33.0 (11.1%)	+128.1%	▲8.5%
経常利益		16.8	過去最高 35.0	36.0	+108.0%	▲2.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		12.5	26.3	28.0	+109.6%	▲5.7%
為替レート (円)	USD	133.98	141.00	138.00	USD：アメリカ合衆国ドル EUR：ユーロ THB：タイバーツ	
	EUR	138.72	153.38	152.00		
	THB	3.79	4.06	4.00		

* 2023年8月1日発表の修正計画

売上高

過去最高 **301.5**億円

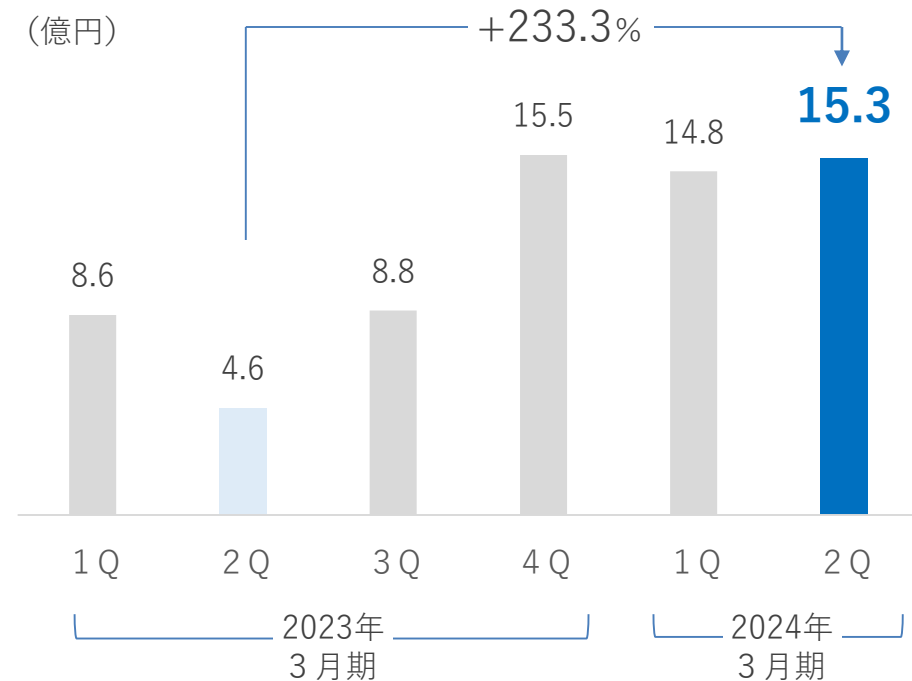
部品調達の進捗により納入残が解消
為替の影響により円貨売上が増加



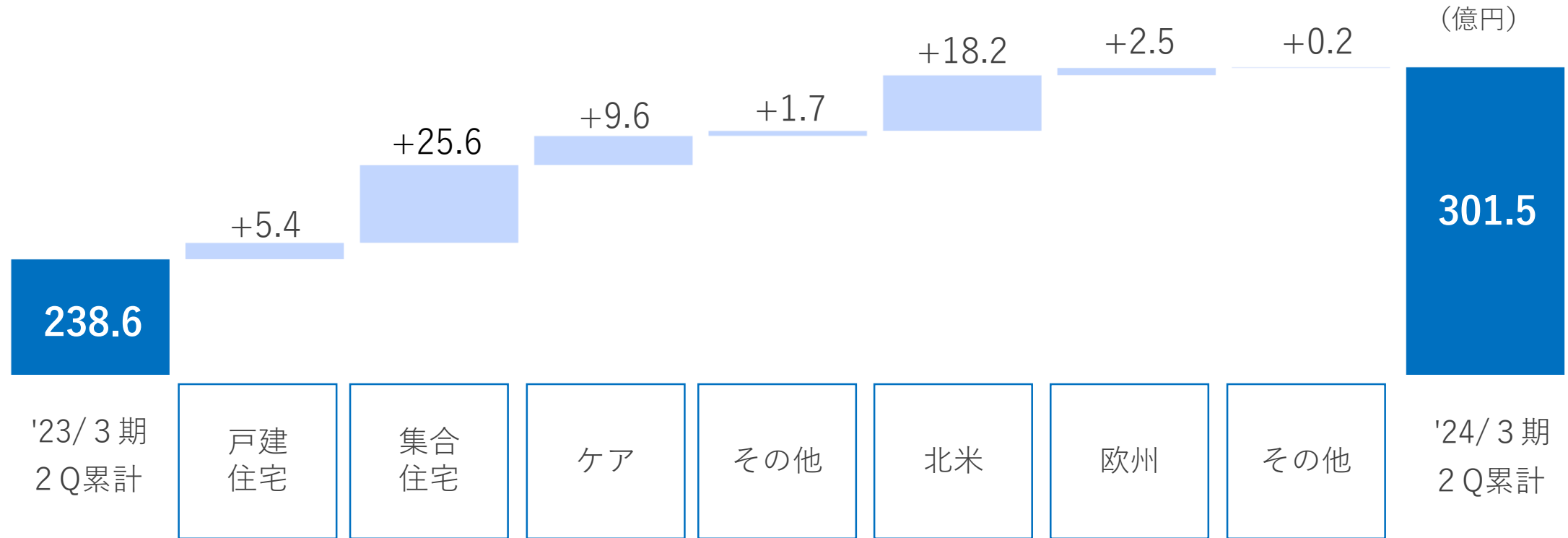
営業利益

30.2億円

売上の大幅な増加により売上総利益が増加
部品コストの増加により売上原価が増加



売上高の増減要因



国内市場

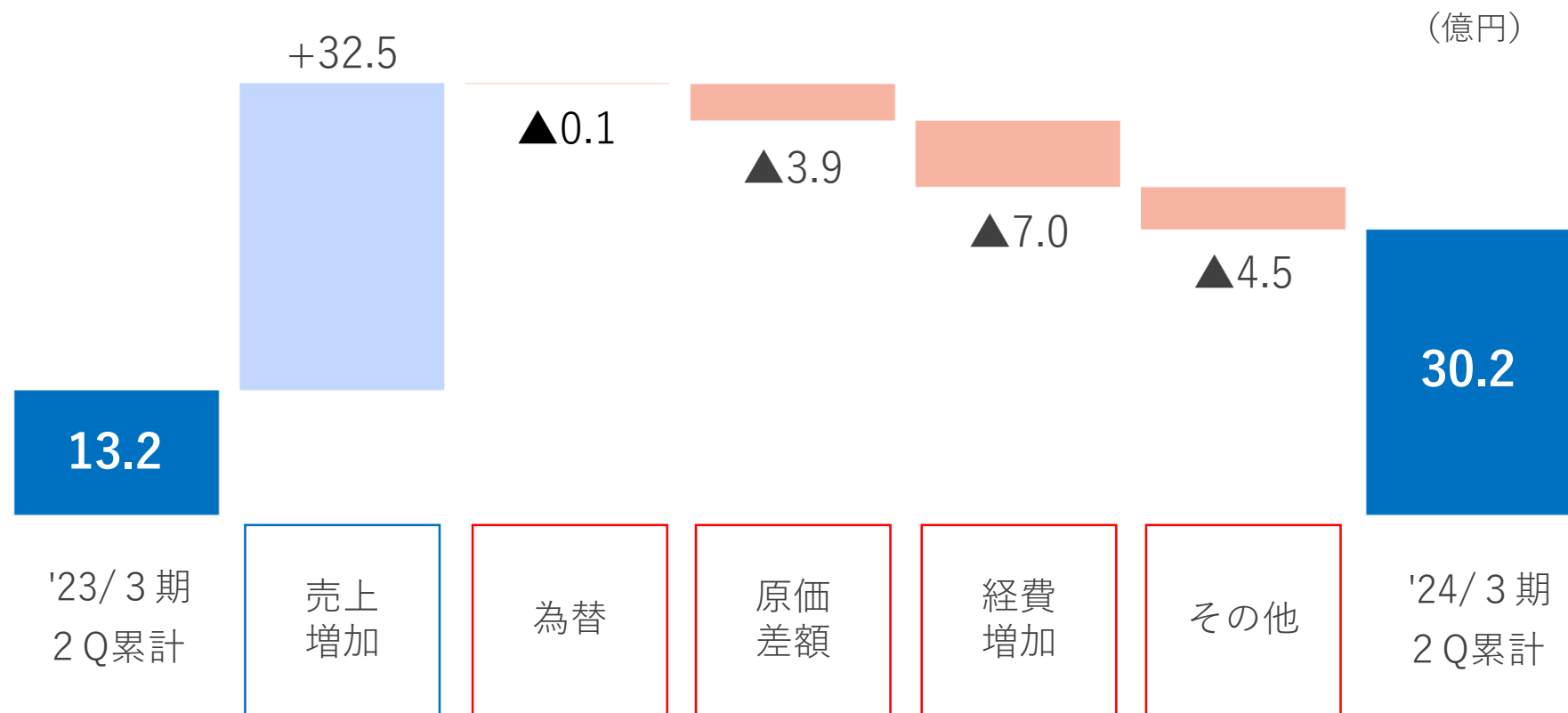
166.1億円 ▶ **208.0億円**
前年同期比 +25.2%

市場競争環境の正常化に伴い、新築分譲マンション向けの売上が減少。部品供給が一部を除き概ね回復傾向となり、リニューアルを中心に各市場において販売が拡大。

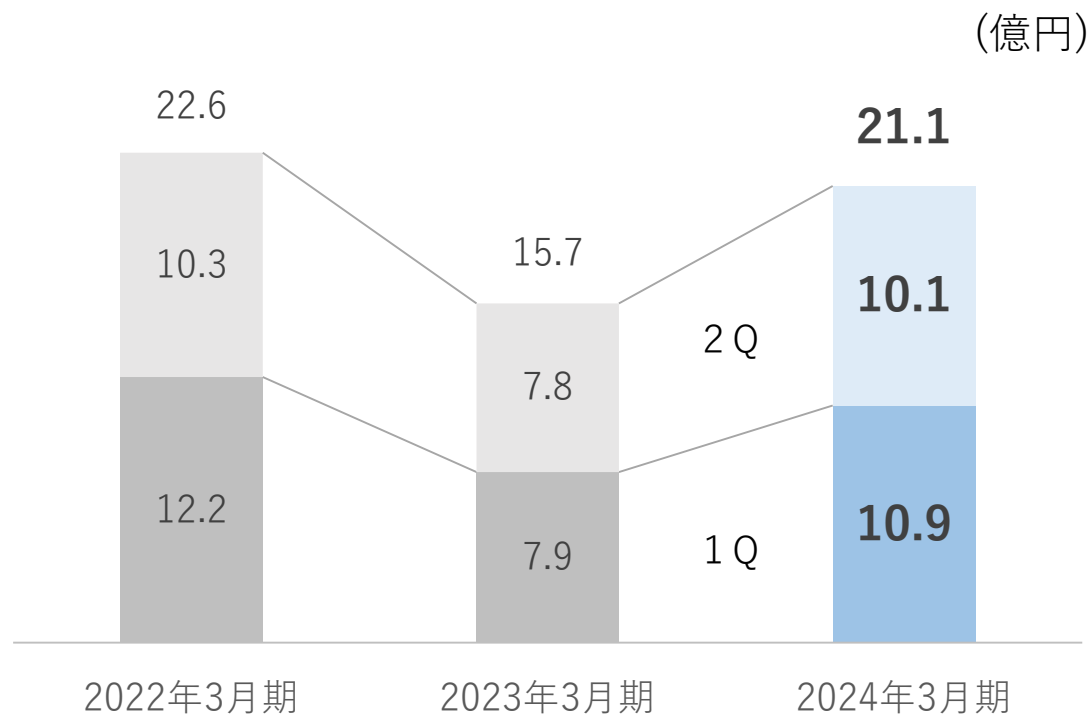
海外市場

72.4億円 ▶ **93.4億円**
前年同期比 +29.1%

部品供給の回復により、前年度から続くバックオーダーが解消し、北米を中心に現地通貨ベース売上が増加。為替の影響もあり円貨ベース売上が増加。



- 価格改定の効果を含む売上高の大幅な増加により、売上総利益が大幅に増加
- 開発費、販売促進費等の経費が増加
- 北米販売子会社の機能強化に向けた人件費等の販管費が増加



	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	増減額	増減率
売上高 (億円)	15.7	21.1	+5.4	+34.6%

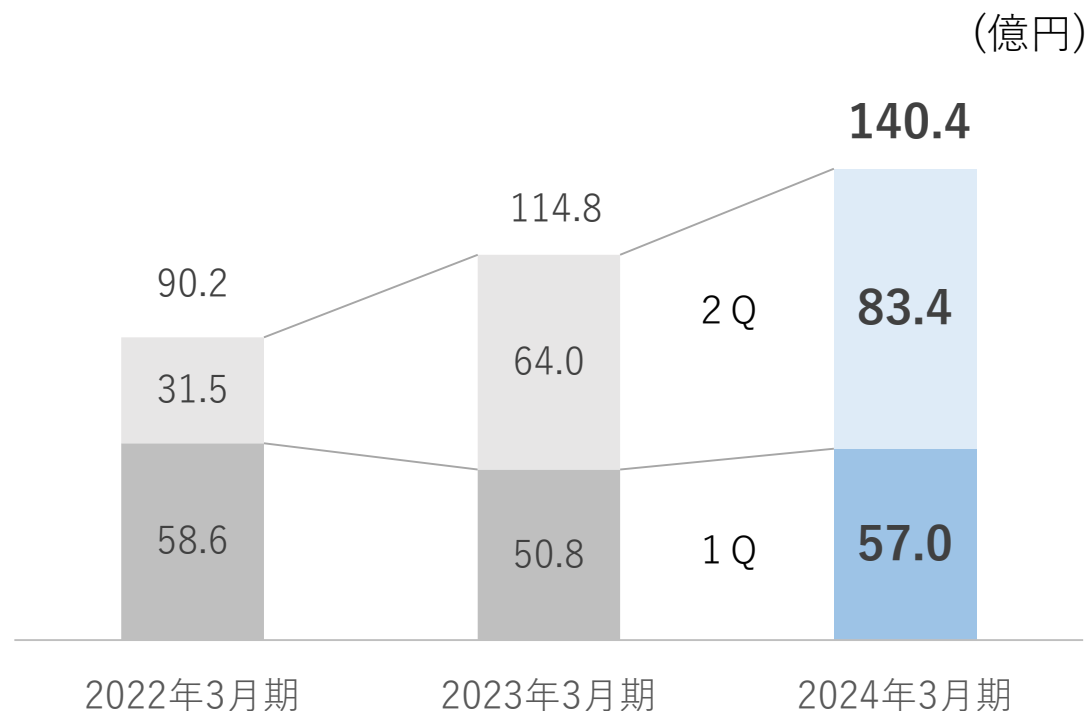
前年同期比

新築 +30.6%

- 部品供給の回復により、主力テレビドアホンの販売が増加
- 価格改定（2022年10月）の効果により、売上が増加
- 当社の納入時期にあたる住宅着工数は減少

リニューアル +48.8%

- セキュリティ需要の高まりにより、主力のテレビドアホンを中心に量販店等への販売が大幅に増加



	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	増減額	増減率
売上高 (億円)	114.8	140.4	+25.6	+22.3%

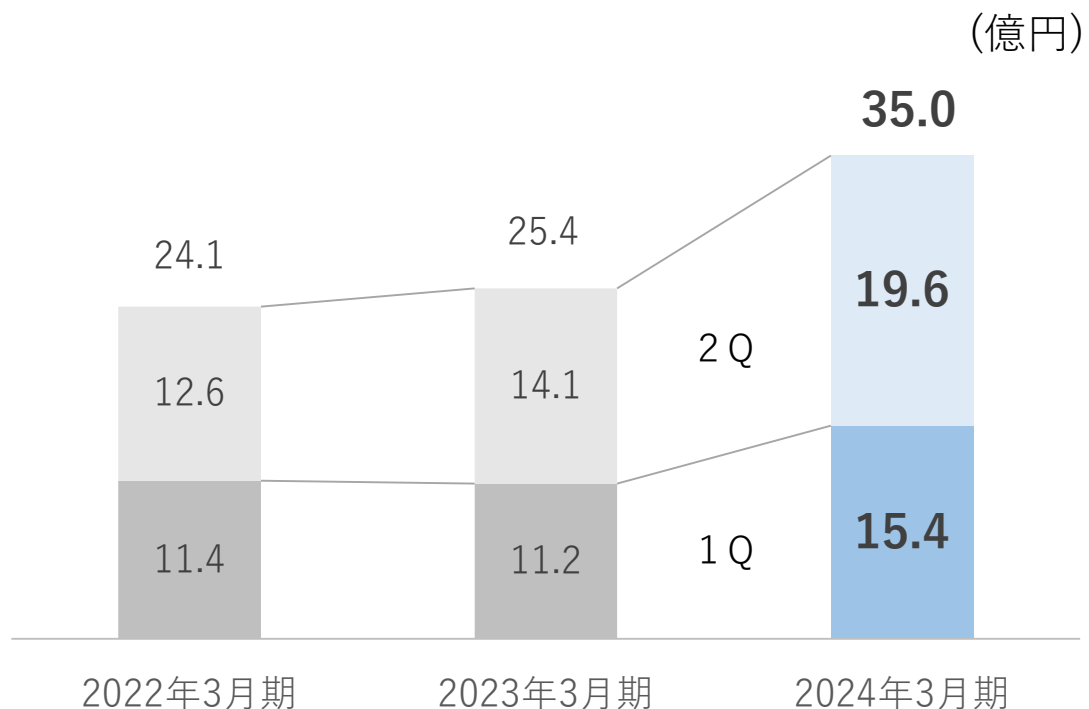
前年同期比

新築 ▲5.4%

- 市場競争環境の正常化により、分譲マンション向けの売上が大幅に減少
- 大手賃貸ディベロッパー等への積極的な受注活動や価格改定の効果もあり、賃貸マンション向けの売上が好調に推移

リニューアル +43.9%

- 部品供給に一定程度の回復が見られたことにより、分譲・賃貸ともに売上が好調に推移



	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	増減額	増減率
売上高 (億円)	25.4	35.0	+9.6	+37.9%

前年同期比

新築

+27.2%

- 部品不足の懸念が払拭され、病院や高齢者施設への売上が好調に推移
- 病院の着工数は、引き続き減少傾向

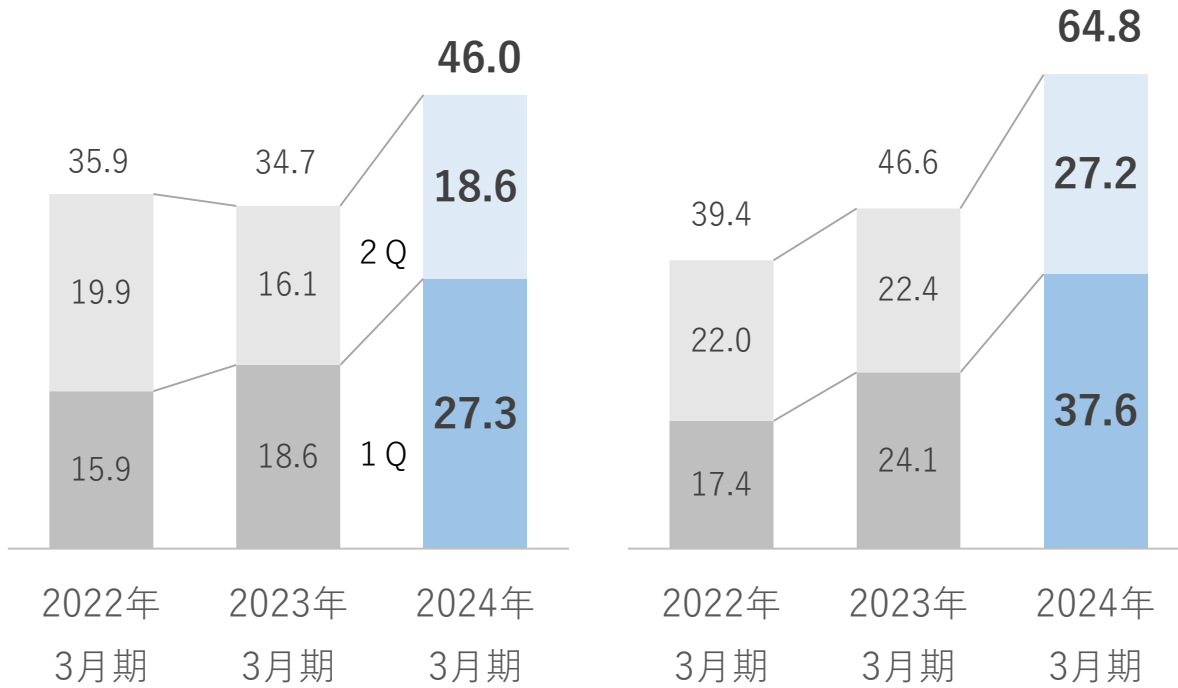
リニューアル

+42.9%

- 医療・介護従事者の不足を背景とする「見守り支援」に対する需要が高まりを見せる
- 病院や施設等への継続的なソリューション提案活動が奏功

現地通貨（百万USドル）

円貨（億円）



	'23/3期 2Q累計	'24/3期 2Q累計	増減額	増減率
現地通貨 (百万USドル)	34.7	46.0	+11.2	+32.3%
円貨 (億円)	46.6	64.8	+18.2	+39.2%

前年同期比

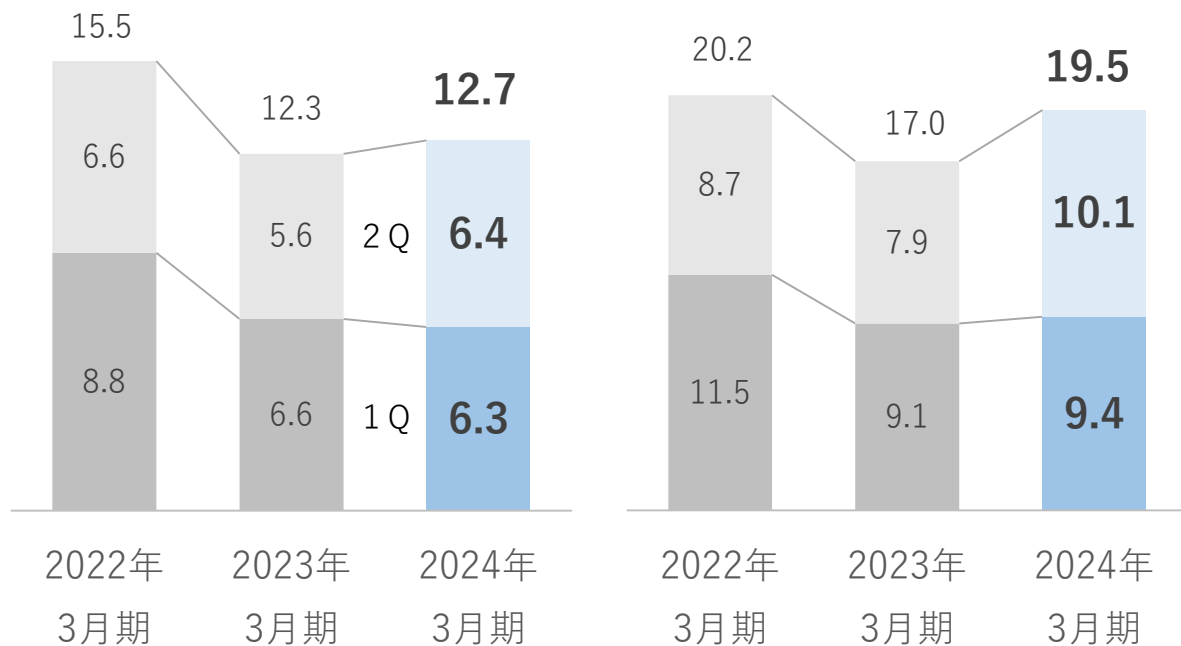
現地通貨 **+32.3%**

円貨 **+39.2%**

- 部品の供給不足の状況が回復したことにより、前年度分を含むバックオーダーが解消
- 学校案件におけるセキュリティ強化に向けた需要が高水準を維持し、IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移
- コロナ禍後の働き方の変化に伴い、郊外の住宅やオフィスビル等への設備投資が高水準を維持

現地通貨（百万ユーロ）

円貨（億円）



	'23/ 3期 2 Q累計	'24/ 3期 2 Q累計	増減額	増減率
現地通貨 (百万ユーロ)	12.3	12.7	+0.4	+3.8%
円貨 (億円)	17.0	19.5	+2.5	+14.7%

前年同期比

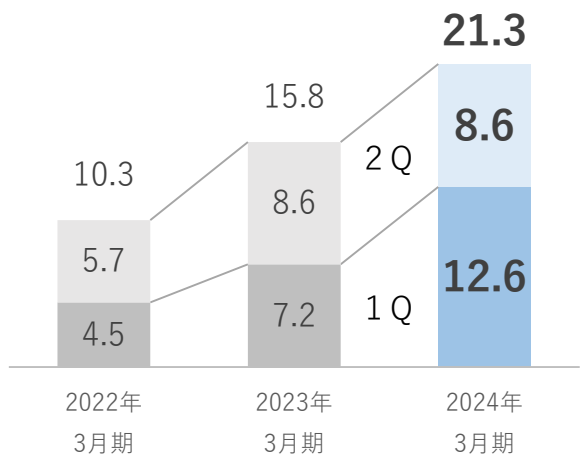
現地通貨 **+3.8%**

円貨 **+14.7%**

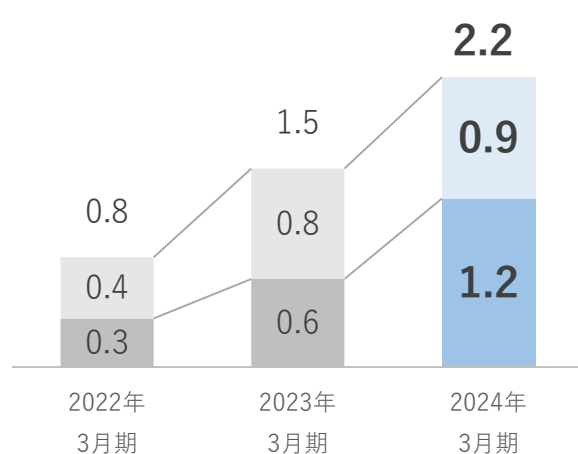
- 戸建住宅市場を中心に主力テレビドアホンの販売が好調に推移（フランス）
- IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移（イギリス）
- 欧州経済が停滞、戸建・集合ともに新築着工が大きく減少
- 前年同期比では増加するも、商品の供給制限前にあたる一昨年度の売り上げ水準には至らず

シンガポール

現地通貨（十万Sドル）

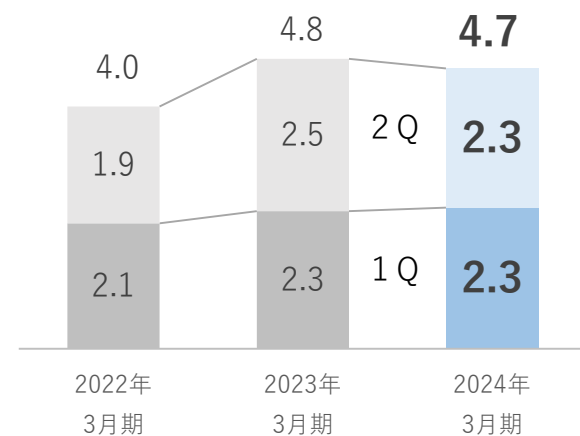


円貨（億円）

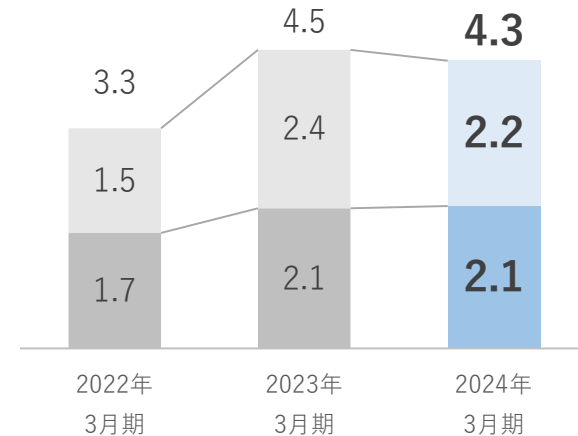


オセアニア

現地通貨（百万AUドル）



円貨（億円）



前年同期比

円貨

+14.7%

- 高速道路等の社会インフラ向けにIPネットワーク対応インターホンの販売が好調に推移（シンガポール）
- 東南アジア市場の拡大に向けた直接貿易からの販路切替を実施（シンガポール）
- 業務市場にてIPネットワーク対応インターホンの販売が好調に推移（オセアニア）
- 住宅市場が停滞し、集合住宅向けの販売が減少（オセアニア）

01

2024年3月期 第2四半期

決算ハイライト

02

事業活動トピックス

03

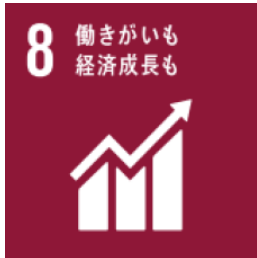
2024年3月期

業績見通し



ナースコールを中心としたケア関連サービスにより、医療・介護の効率化に貢献する

成長基盤のテーマである人材投資を促進することで生産性の向上と合わせて働きがいの向上も実現する



戦略テーマである”顧客サービスの拡充”と”開発力の強化”を進めることで提供する社会価値・企業価値の向上を実現する

インターホンリニューアル事業を推進する事により、安心して住み続けられる街づくりに貢献する



生産・使用・廃棄の全てにおいて、誰もが安心して使い続けられる製品・サービスを提供する

社会価値・企業価値向上の実現のためあらゆるパートナーシップの模索を続けていく



パビット Pabbit とは？



エントランスインターホンで
伝票番号を認証



住戸前の宅配ボックスや
置き配用バッグに配達

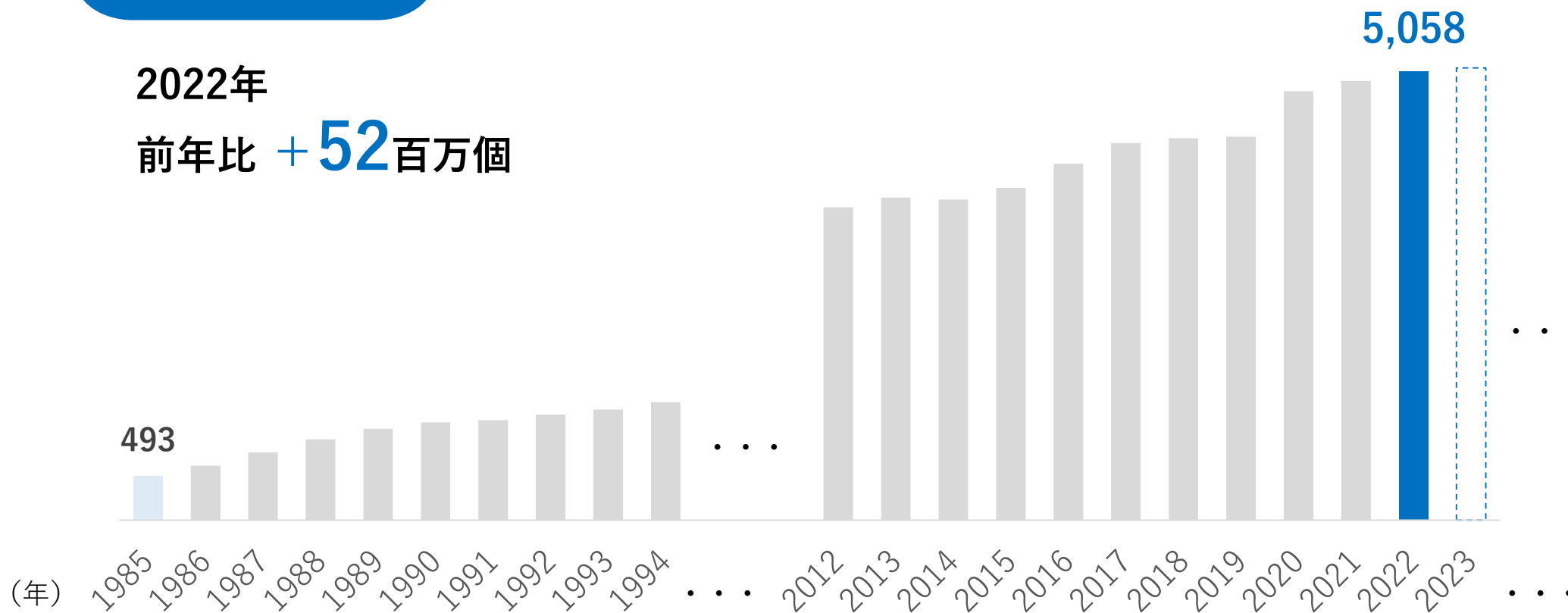


（単位：百万個）

宅配便個数の推移

2022年

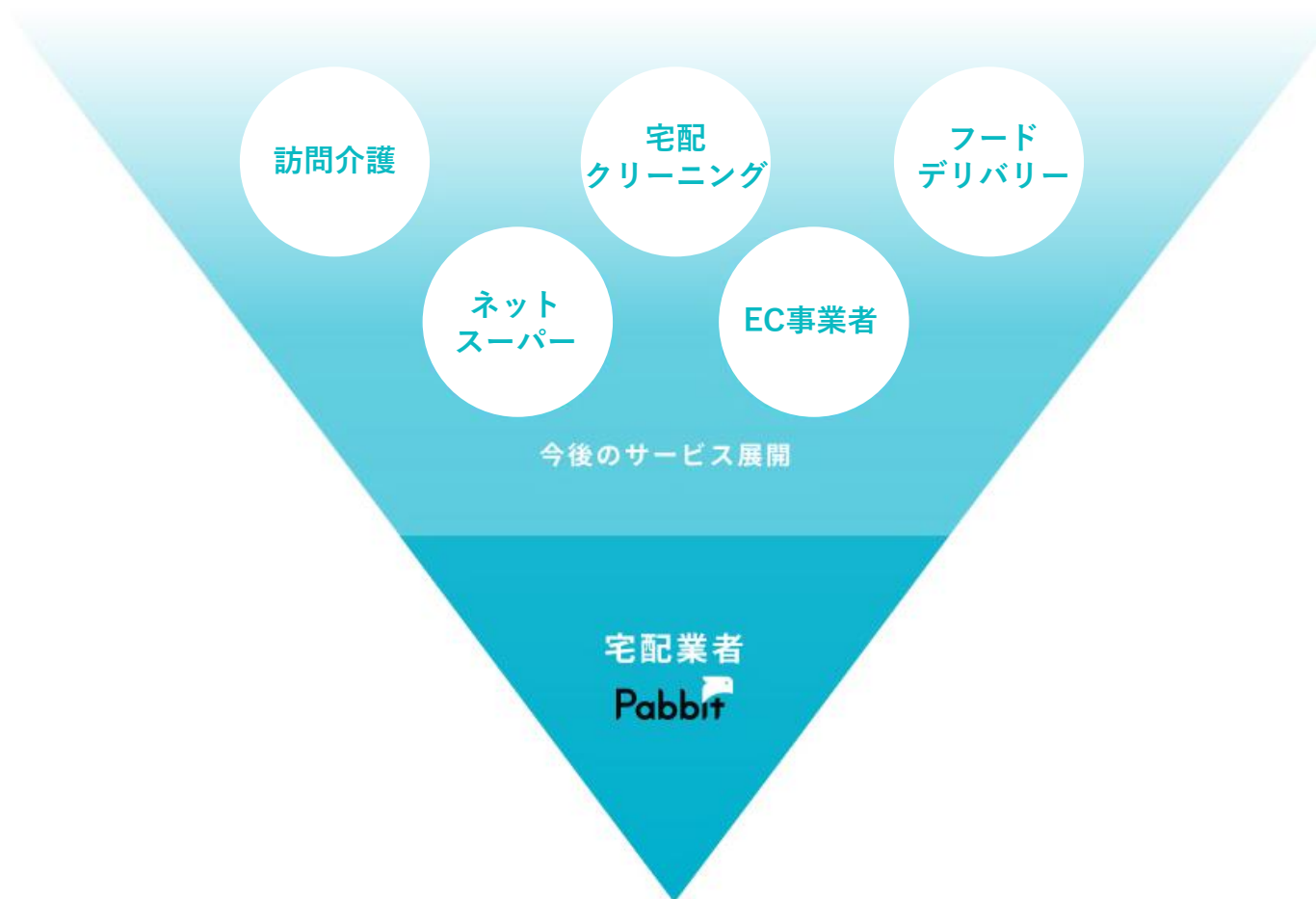
前年比 **+52**百万個



（出所）2023年8月25日 令和4年度宅配便・メール便取扱実績について（国土交通省）より当社作成

サービスの方向性

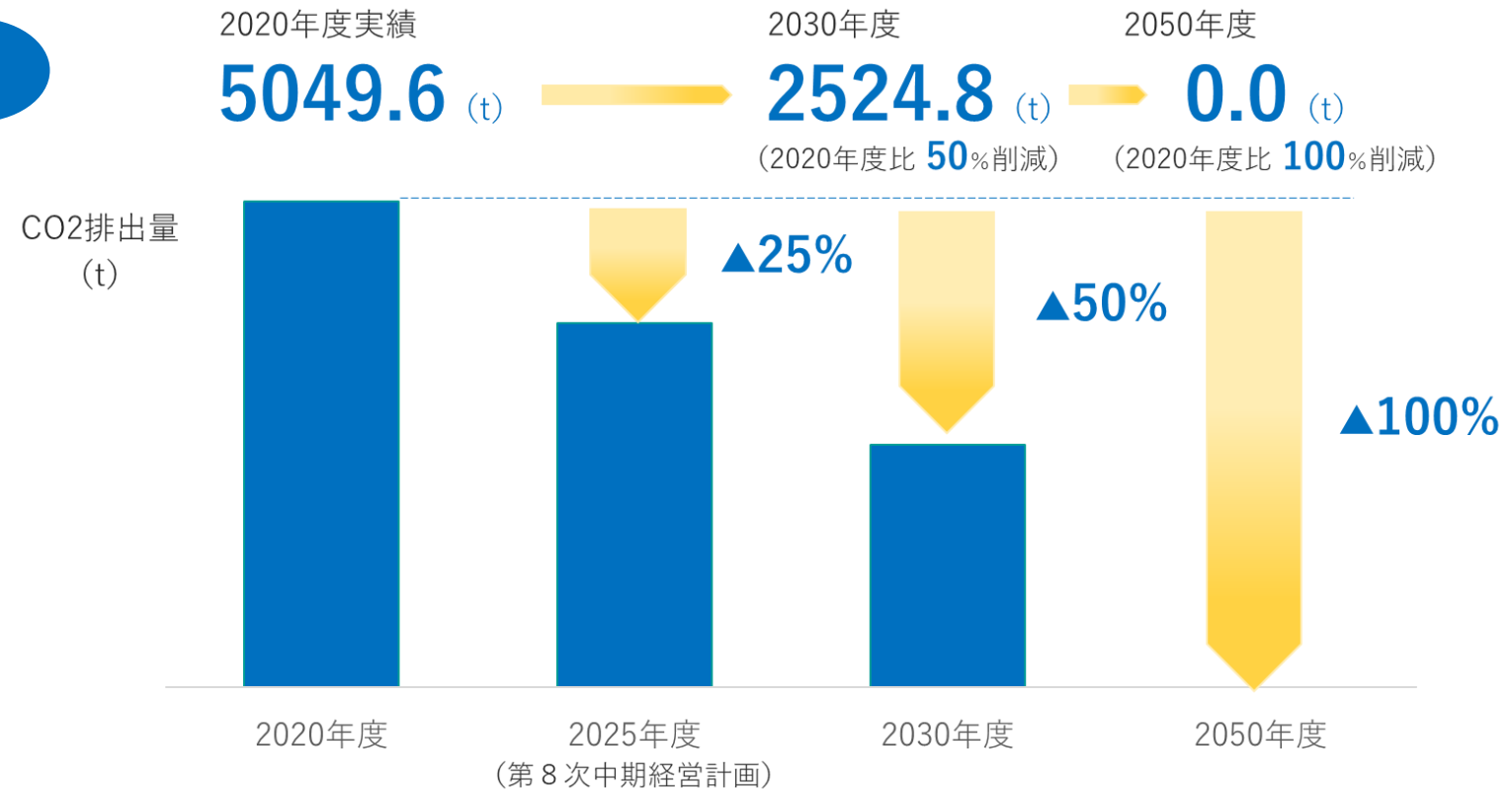
宅配便以外の、さまざまな生活パートナーと連携し、より魅力的なサービスへと展開を予定



国内事業所を中心に

再生可能エネルギーを活用

CO2削減目標*



*（対象）アイホングループScope 1、2



- 欧州経済の状況に鑑み、市場の動向を注視
- アイホンS.A.S（フランス）の機能強化に向け、体制を整備

- 国内直接貿易からアイホンPTE.（シンガポール）への販路切替
- IPネットワーク対応商品（インターホン・ナースコール）の受注体制強化に向けた社内整備

- エンジニアを中心に増員
- 中南米攻略に向け体制整備
- 新規顧客の開拓に向け、展示会・ミーティングへの参加を強化

01

2024年3月期 第2四半期

決算ハイライト

02

事業活動トピックス

03

2024年3月期

業績見通し

売上高 上半期の業績結果および部品の供給状況等を勘案し、過去最高の計画

利益 為替（円安）の影響による減少はあるものの、売上高の大幅な増加が大きく影響

(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 ^{*1} 計画	前期比 増減率	2024年3月期 ^{*2} 当初計画	当初計画比 増減率	
売上高	528.1	過去最高 600.0	+13.6%	567.0	+5.8%	
営業利益 (売上高営業利益率)	37.5 (7.1%)	55.0 (9.2%)	+46.3%	43.0 (7.6%)	+27.9%	
経常利益	41.6	過去最高 62.0	+48.8%	47.0	+31.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	29.2	過去最高 46.0	+57.0%	33.0	+39.4%	
為替レート (円)	USD	135.48	USD：アメリカ合衆国ドル EUR：ユーロ THB：タイバーツ	139.00		
	EUR	140.97				154.00
	THB	3.85				4.00

*1 2023年8月1日発表の修正計画

*2 2023年5月9日発表の当初計画

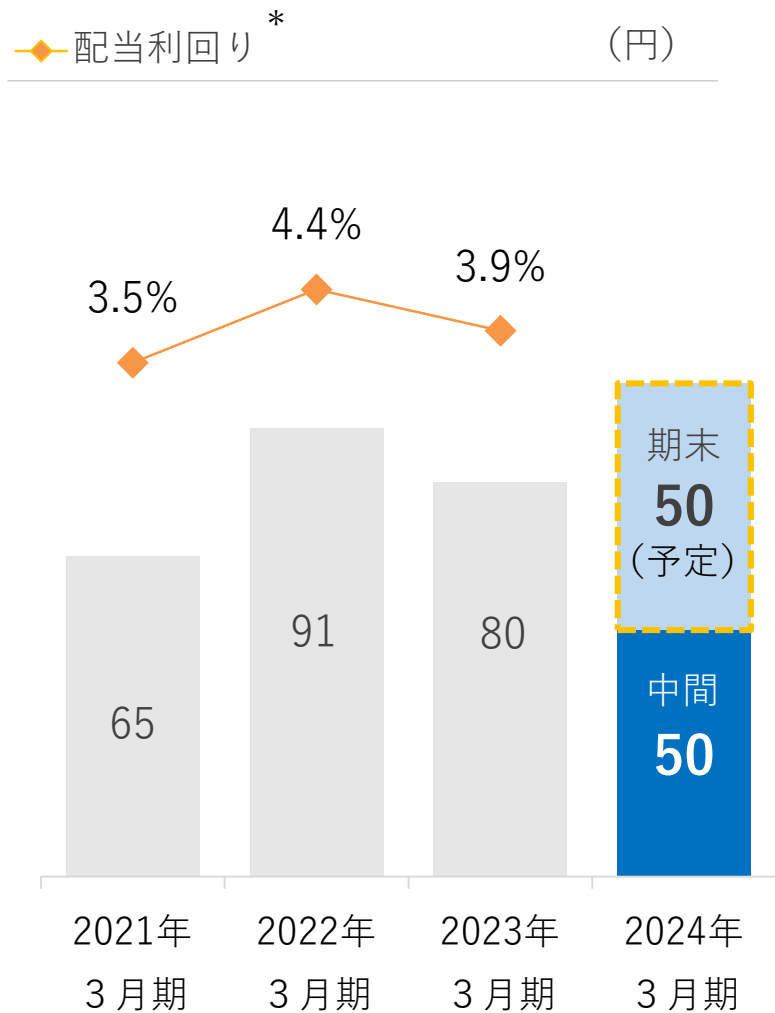
価格改定

IPネットワーク対応商品

改定時期

2023年10月1日（日）受注分より

対象システム		改定率
ケア市場向け	V i - n u r s e システム	約10%
業務市場向け	I X システム	約10%



* 各年度3月末時点の株価より算出

年間配当

前回予想 80円 → 修正予想 100円 (予定)

通期の業績予想等を踏まえ、
 中間及び期末の配当は前回予想から1株当たり
 それぞれ10円増配し50円、年間では1株当たり
 100円の配当を予定



本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき弊社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

アイホン株式会社

<https://www.aiphone.co.jp/ir/>

